

# バンコク宣言

## 2015年国連ウェーサク祝賀式典

1999年12月15日、34カ国の代表者が国連総会にて、国連本部及び各地域において5月の満月の日を国連ウェーサクの日として認識し勤修することを提案した。国連総会はこれを決議（セッション No.54/項目 174）し、全仏教宗派の支援のもと、国連ウェーサクの日は2000年より開催された。この決議を遂行するため、われわれは2015年5月28日～30日(B.E.2558)に85の国と地域から集まった。昨年、国連ウェーサクの日はマハチュラロンコーン仏教大学で盛大に催され、光栄なことにタイ国サンガの意向の下、タイ国政府の支援も得ることができた。

国連ウェーサクの日開催中、われわれは相互理解と全仏教宗派の個人・組織間の協力を促進する「仏教と世界の危機」をテーマに探究した。この盛大な国連ウェーサクの日と会議の結果、満場一致で次のような項目を決議した。

- ① シリントーン王女の60歳を祝して、共通の仏典を出版する。
- ② 同じくシリントーン王女の60歳を祝して、総合仏典カタログ（通称UCBT）の第1段階プロジェクト（全仏典のオンラインカタログにリンク）を始動。第1段階では、マハチュラロンコーン仏教大学編集のパーリ語経典とそのタイ語翻訳版経典の高度カタログ web サイトを作成し始動する。
- ③ 様々な世界の危機の解決において、全組織に次の2つの事を認識させる。
  - (a) 衆生は他の衆生と相互依存し、衆生は衆生を取り巻く環境とも相互依存していることを観察すること。
  - (b) 慈悲と智慧を通して、われわれは危機を幸福への機会へと変容できるというオプティミズムを促進する。
- ④ 全ての個人、特に責任を持つ者に、女性の世界的権限委譲を促す。

- ⑤ 若者及び社会全体に向けて、全ての政府機関及び非政府機関に、心の教育、宗教の多様性、倫理観、精神修養等の教育に投資することを促す。(一例としてタイ国における五戒ビレッジ・プロジェクト)
- ⑥ 地球温暖化及び環境破壊の解決に向けて生態学的に持続可能かつ環境に優しいコミュニティを作るために、様々な倫理観を基盤とした簡素な生活スタイルを通して個人の精神的変容及び社会、経済、法律、政治レベルでの構造改革を促進する。具体的には、地球を開発するのではなく、人類に地球と共に生きることを勧め、世界のコミュニティに人間と自然環境の相互依存性への目覚めを促す。
- ⑦ 最近起こったネパールの大地震のような自然災害や飢饉への救済措置を推奨する。これはすでに世界的に仏教コミュニティによって着手されているが、この慈悲の実践活動を促進するために協力体制をさらに強める。
- ⑧ ASEANのすべての政府、コミュニティ、同胞を団結させ、メコン川とその脆弱なエコシステムという悲惨な状況を解決する方法を模索することを促す。
- ⑨ ASEAN、またその枠を超えた融合社会を創造するために、仏教の指導者たちに、現在尽力している諸宗教・倫理・文化の対話の強化を促し、相互理解、和解、尊敬、平和構築、協調の精神を促進する。
- ⑩ 麻薬、民族間の暴力、家庭内暴力といった社会問題を解決するために、社会的なステータスやジェンダーに関係なく利用できるマインドフルネス、慈悲、智慧、自己責任、いのちへの敬意、すべての人々を敬愛するという数々の仏教の行を適用する。(実際、マインドフルネス瞑想は囚人のリハビリに取り入れられている)